

神戸高塚高校女子生徒校門圧死事件から28年



子どもの権利を守って ゆきとどいた教育を！



7月6日(金)の行動

- 午前7時30分～8時10分
西神中央駅頭で宣伝
- 午前8時20分～
神戸高塚高校門前で
追悼の献花
- 午前10時00分～11時
知事・県教委・県議会への要請行動

兵庫の教育をよくする県民会議
(兵庫教育共闘)

《連絡先》 兵庫労連 TEL 078-335-3770

おぼえていますか？
兵庫の行き過ぎた管理教育が生んだ神戸高塚高校事件を。

「形をつくるのが教育」とする校長の指示で、午前8時30分きっかりに門扉を閉める先生。遅れまいと校門に飛び込んで鉄の門にはさまれた女子生徒。

神戸高塚高校女子生徒校門圧死事件はこうして一九九〇年七月六日に起こりました。

全国の父母・教職員、そして国民は「人を物」としかみない管理主義に心からの怒りを覚えました。

あれから二十八年。いまだ、「自己責任」の名による管理主義・競争主義的な教育からの脱却は図られていません。それどころか、兵庫県では、「高校学区拡大」が導入され、競争の教育が激化し、遠距離通学を余儀なくされている生徒たちが増えています。

一八歳選挙権が実施されて二年が過ぎました。真の主権者教育とは何か、みんなで考えていきましょう。

わたしたち兵庫教育共闘は神戸高塚高校事件をきっかけに結成され、子どもたちが主人公となる兵庫の教育の実現をめざして活動しています。憲法を守り、子どもの権利条約を生かして、ゆきとどいた教育の実現をめざしていきましょう。